

第1回 嘉麻市行政経営推進審議会 会議録

1. 審議会等の名称 令和6年度 第1回嘉麻市行政経営推進審議会
2. 開催日時 令和6年7月23日（火）14:00～16:00
3. 開催場所 嘉麻市役所本庁舎5階 委員会室2
4. 公開又は非公開の別 公開
5. 非公開の理由（会議を非公開とした場合のみ）

6. 出席者

（1）委員

美谷薫委員、藤井正博委員、林田史朗委員、三船國弘委員、頼金豊子委員、長野美津子委員、永富靖人委員、野見山桂子委員、大里理子委員、松田クニ子委員

＊欠席委員 大野繁治委員、大森成順委員

（2）執行機関

市長 赤間幸弘、財政課長 赤坂晋、財政課長補佐 田中ひふみ、
行政改革推進係長 渡辺亮、行政改革推進係 太田野与香

7. 傍聴人数（会議を公開した場合のみ） 0人

8. 議題及び審議の内容

（1）委嘱書交付

（2）委員及び事務局自己紹介

（3）副会長互選

⇒全参加委員承認により、藤井正博委員に決定

（4）市長あいさつ

（5）諮問

【議題】

（6）今後のスケジュールについて

（7）昨年度行政経営推進審議会指摘事項対応状況について

（8）第4次嘉麻市行政改革実施計画の令和5年度実施状況について

（9）第4次嘉麻市行政改革実施計画の目標値等の改定について

（10）その他

【審議の内容】

（6）今後のスケジュールについて

審議会スケジュールについて、今後の審議の流れとともに資料により説明を行った。

（事務局）

（7）昨年度審議会指摘事項に対する対応状況について

昨年度の審議会において指摘のあった事項への市の対応状況について、資料に沿って説明を行った。（事務局）

説明を受け、次のような意見が出た。(委員)

- ・「敬老事業」の項目に関しては、様々な意見が出たなかで、2つにまとめた意見に対し、アンケート調査の結果に基づき、従来どおりのやり方を採用するということ及び検討は行ったが、利用者に対して、より混乱が生じるため、従来どおりのやり方を採用するということである。「対応予定なし」という回答については、多少疑問がある。
- ・「対応予定」という回答に対しても検討していく予定ではあるが、その回答が多い。

(8) 第4次嘉麻市行政改革実施計画の令和5年度実施状況について

第4次嘉麻市行政改革実施計画の令和5年度実施状況について、資料に沿って説明を行った。(事務局)

説明を受け、審議を行い、次のような質問及び意見が出た。(委員)

- ・全体的な総括としては、年々効果見込みと実績結果に差が生じている。市としての受け止め方はどう考えているのか。

→令和2年度に計画を策定している。その当時、実施する項目を想定していた事業の中で、民間委託等の部分にはなるが、想定していたよりも図れていないというのが現状である。人件費の高騰もあり、当初想定していた民間委託等による効果額が、経費等増加によりメリットがなくなり、目標との乖離が生じたと捉えている。

- ・民間委託等については、当初からこのあたりの設定は懸念される部分があった。情勢変化というのは大きな要因ではあるが、十分に慎重にとらえて、今後の計画の策定等には努めてほしい。

- ・項目2「財務4表の活用」について、活用というのは、特にどのように市民に説明していくのが大事なのではないか。

→財務書類については、まずは議会に対して説明ができていないことが課題である。議員の皆様にご理解いただき、その後市民の皆様にご理解いただくことを検討している。説明する機会の場を創出することができていない状況である。今後、議員の皆様にもわかりやすい説明資料を作成することを検討している。

- ・取組状況の中で「詳細な分析ができていない」と書かれているが、そういうのは進んでいるということか。

→詳細な分析については、施設別コスト計算を用いて使用料の見直しに利用するよう作成していたが、施設別コスト計算も現状では詳細な分析ができていない。

- ・財務諸表については、公開しているのか。

→市のHPで公開している。概要版を次回資料として提出する。

- ・項目5「水道事業会計の安定的な経営」について、漏水対応が困難ということになると、一般会計からの繰入れ対象になると思うが、財政課としての意見はどうか。

→水道事業会計については、今のところ安定的な経営がなされているところであると認識している。一般会計からの繰入れについては、現状法定分のみで対応している。

- ・老朽化が進んでいるので、一気にスピードを上げて対策する必要があり、一般会計からの

繰入れが可能であるため、そのあたりの対応は考えているのか。

→今後、老朽管の更新事業は、水道局において年次計画に基づき行われるものであると考えている。

・項目6「市税等の徴収率の向上」について、今後ますます納付状況が悪くなる一方ということか。

→所管課においては、徴収率向上に向け対応しているところである。

・項目8「ふるさと納税の推進」について、ある程度寄附金額は増加しているが、経費もあわせて増加しているということか。

→寄附金額にかかる経費の割合を抑制できず、経費割合を抑制するため寄附金額を上げることとなり、寄附金額が見込みに到達しなかったということである。

・市の収入については、毎年増加しているのか。

→納税額については、増加傾向ということを確認している。具体的な数値は持ち合わせていない。

・近隣自治体は、ふるさと納税で多額の金額の寄附を受けている。比較の意味を含めて、市の実績状況を知りたい。

→過去5年の件数、金額、主な返礼品の資料を次回資料として提出する。

・項目10「基金の効率的運用」について、将来の財源不足に備えて、購入を差し控えているとあるが、取り崩しの可能性を想定しているということか。

→債権を現金化できない場合を想定している。

・計画改定予定であるが、計画策定時と比較して、利率の問題ではなく、歳入減歳出増の影響ということで、財政状況がかなり変化しているのか。

→お見込みのとおり。

・市の債権は、国債が主か。

→ほぼ国債で、一部地方債である。20年定期が主。現在は5年、10年定期でも利率がいいものがあるので、それを購入し運用収入を確保することは検討している。しかし、基金の取り崩しということを考えると債券で保有していると取り崩し現金にはできないため、20年定期を整理するタイミングで10年定期に入れ替える等を検討している。

・現在は、ここ10～20年と比較した場合、少し状況は変わってきており、波にうまく乗れるかが重要であろう。失敗するわけにはいけないので、慎重な対応が求められる。

・項目12「職員数の適正化」について、定員に対して、事務を処理できている実際の職員数、実稼働人数はどのくらいなのか。その人数でもって、どこに支障をきたしているのかを検証する必要がある。

→次回資料として提出する。

(9) 第4次嘉麻市行政改革実施計画の目標値等の改定について

第4次嘉麻市行政改革実施計画の目標値等の改定について、資料に沿って説明を行った。

(事務局)

・項目10「基金の効率的運用」について、令和7年度の目標運用益28,750千円の根拠は何か。

→令和2年～5年度までの運用益平均24,452千円。伸び率平均11.8%であるため、25,000千円×15%の28,750千円と算定したもの。

(10) その他

報酬及び費用弁償の支払いについて、昨年度と同様に、全ての審議が終了し、答申後にまとめてお支払いすることについての説明を行った。(事務局)

9. 配布資料

- ・令和6年度第1回嘉麻市行政経営推進審議会次第
- ・令和6年度行政経営推進審議会スケジュール（資料1）
- ・令和5年度行政経営推進審議会意見対応等状況調査表（外部評価分）（資料2－1）
- ・令和5年度行政経営推進審議会意見対応等状況調査表（行革分）（資料2－2）
- ・令和5年度行政経営推進審議会答申（資料2－3）
- ・第4次嘉麻市行政改革実施計画実施状況（令和5年度）目標値等修正前（資料3－1）
- ・第4次嘉麻市行政改革実施計画実施状況（令和5年度）目標値等修正後（資料3－2）
- ・実施計画改定予定箇所（資料4）